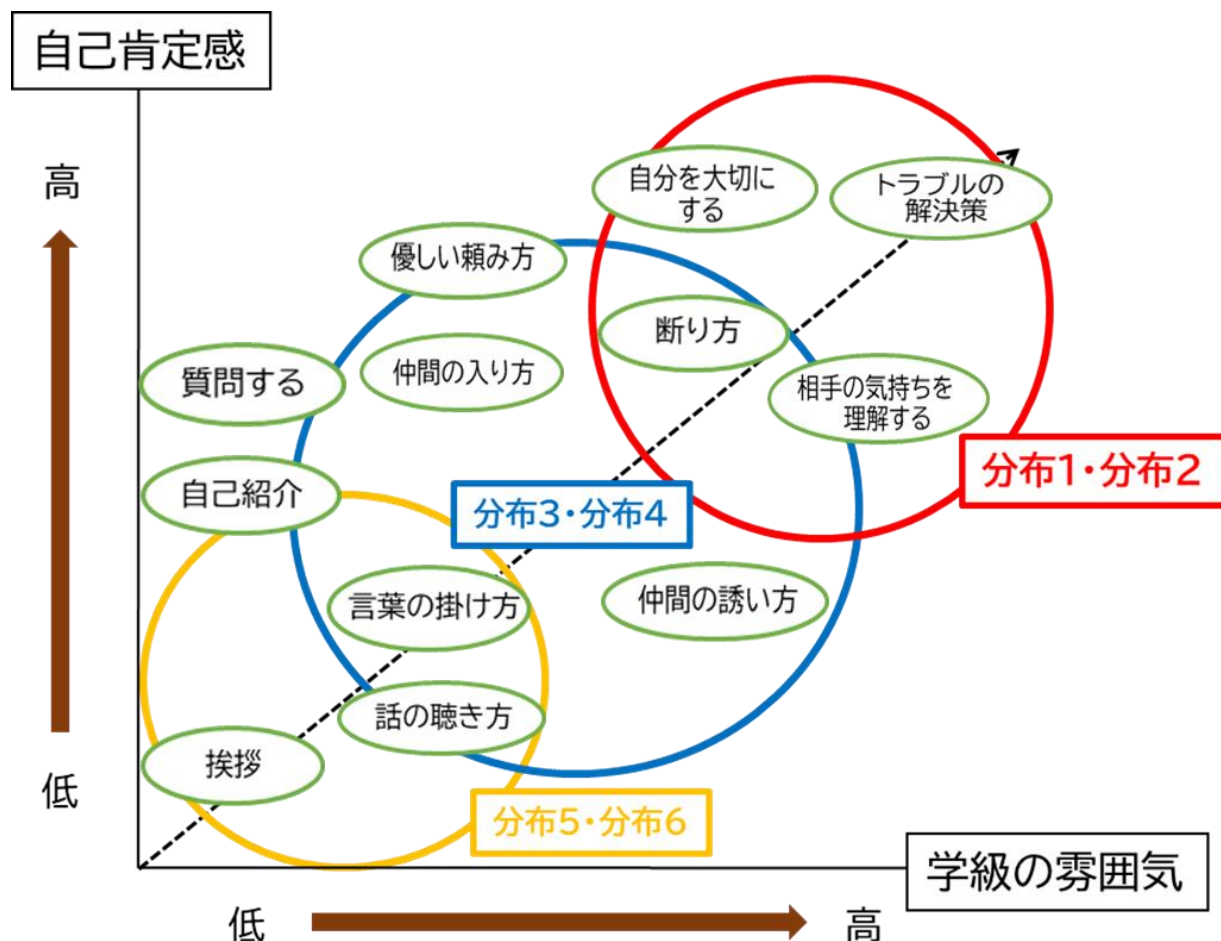


C & S 質問紙の分布に合わせたおすすめのソーシャルスキル

先行研究や本研究の結果を基に、参考資料としてC & S 質問紙の分布に対応したおすすめのソーシャルスキルをイメージ図として示しました。ただし、基本的には児童理解に基づき、実態に基づいたソーシャルスキルを取り入れたソーシャル・スキル・トレーニング（SST）を行っていくことが有効です。



分布1・2

学級にまとまりがあることから、能動的な援助を考えたり、主体的に行動し、リーダーシップが発揮したりできるようなスキルを行なうことがおすすめです。

分布3・4

学級のまとまりに欠ける傾向があることから、決まりやルールを定着していくために集団生活のマナーの順守や受容する態度を目指すスキルを行なうことがおすすめです。

分布5・6

学級としてのまとまりに大きな差が生じていることが考えられ、挨拶や話の聴き方などの基本的なルールの定着を目指すスキルを行なうことがおすすめです。

< 先行研究・参考文献 >

- ・『ソーシャル・スキル・トレーニング（SST）に関する指導プログラムの開発』
(平成18年度埼玉県総合教育センター研究報告書第307号)
- ・『一人一人が互いのよさを認め、支え合う児童の育成』資料編
(令和4年度群馬県総合教育センター長期研修員報告書)
- ・河村茂雄編著(2001) 『タイプ別！学級育成プログラム 小学校編』 図書文化

